



松戸保健所感染症情報 2026年度第6号



発行日: 2026年6月19日(金)

発行: 松戸保健所(松戸健康福祉センター)疾病対策課

2026年第23週 2026年6月1日~6月7日

2026年第24週 2026年6月8日~6月14日



保健所からのお知らせ

2026年第24週における千葉県内の小児科定点医療機関の定点当たり報告数によると、**手足口病は5週連続で増加しています。**
国内では、乳幼児を中心に夏季に流行するため、引き続き発生動向に注意が必要です。



全数把握対象疾患

松戸保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。
全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	2026年第23週~第24週		累計 (2026年第1週~2026年第24週)
2類感染症	結核	3	46
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	4
5類感染症	急性脳炎	2	15
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	7
	後天性免疫不全症候群 (H I V 感染症を含む)	1	4
	梅毒	3	18



定点把握対象疾患

上段: 報告数

下段: 定点当たり報告数(定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値)

前週比: ↓ 減少 → 横ばい ↑ 増加

小
児
科
定
点

疾病名	前週比	第 2 4 週	第 2 3 週
RSウイルス 感染症	↓	— —	1 0.09
咽頭結膜熱	↓	6 0.55	8 0.73
A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	↑	38 3.45	37 3.36
感染性胃腸炎	↓	69 6.27	74 6.73
水痘	↓	11 1	15 1.36
手足口病	↑	39 3.55	23 2.09
伝染性紅斑	↓	— —	13 1.18
突発性発疹	↑	3 0.27	1 0.09
ヘルパンギーナ	↑	5 0.45	2 0.18

急
性
呼
吸
器
感
染
症

疾病名	前週比	第 2 4 週	第 2 3 週
インフルエンザ	↑	1 0.05	— —
新型コロナ ウイルス感染症	↓	8 0.4	9 0.45
急性呼吸器 感染症 (ARI)	↑	1545 77.25	1497 74.85
急性出血性結膜炎	→	— —	— —
流行性角結膜炎	↑	3 0.6	— —

眼
科

※急性呼吸器感染症(ARI)
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、
発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例



【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】

活動性結核(①~④)	
①喀痰塗抹陽性	1
②その他の結核菌陽性	0
③菌陰性その他	0
④活動性肺外結核	0
無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症)	1



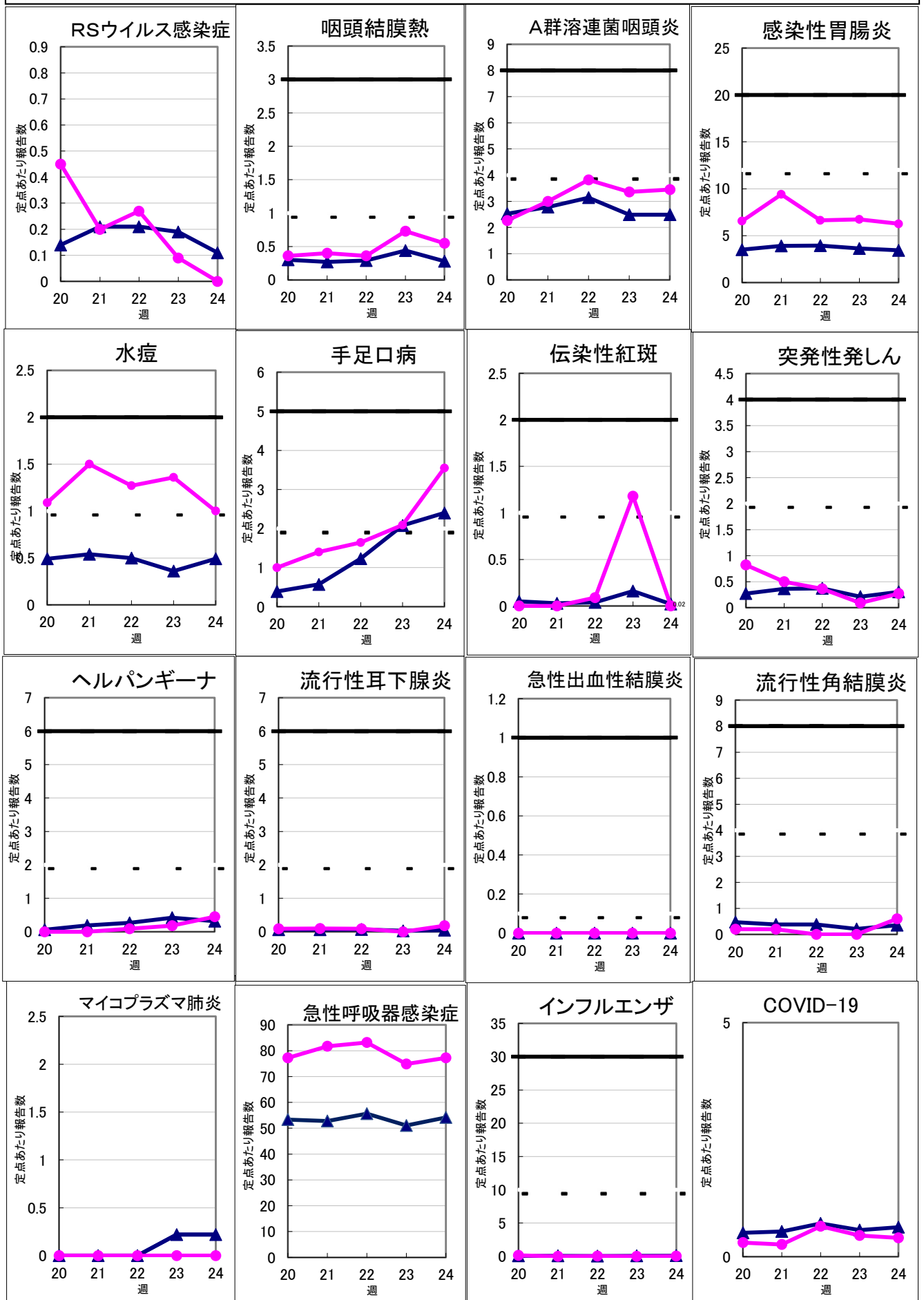
【集団感染発生状況】

疾患名	報告数
手足口病	3件 (保育施設)
RSウイルス 感染症	1件 (保育施設)

数値は報告の追加、取り下げ等により、今後変動することがあります。

松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

● 松戸保健所管内 ▲ 千葉県全体 — 警報基準値 - - - 終息基準値



麻疹について

発生動向

千葉県では、2026年第24週に千葉県内医療機関から麻疹届出はなく、2026年の累計は32例となりました(図1)。
 全国では、2026年第23週に群馬県及び千葉県で各1例の計2例の届出があり、2026年の累計は525例となりました。
国内外で麻疹届出数が増加しており、今後も更なる増加の恐れがあるため、引き続き発生動向に注意が必要です。

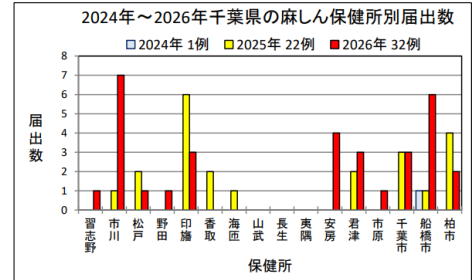


図1

出典:千葉県の麻疹発生状況 2026年第24週
[202624measles.pdf](https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2624.pdf)

感染症について

麻疹は感染力が非常に強く、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。免疫を有していない人が感染すると、ほぼ100%発症するとされています。

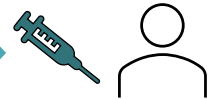
予防方法

予防接種が最も有効です。 空気感染するため、マスク着用や手指消毒だけでは麻疹は予防できません。

母子手帳などで
 予防接種歴 確認

・定期接種2回受けていない
 ・接種歴が不明

かかりつけ医に相談し、
 予防接種を検討しましょう



手足口病について

発生動向

2026年第24週における千葉県内の小児科定点医療機関の定点当たり報告数は、5週連続で増加し、2.40(人)となりました(図2)。国内では、乳幼児を中心に夏季に流行するため、引き続き発生動向に注意が必要です。

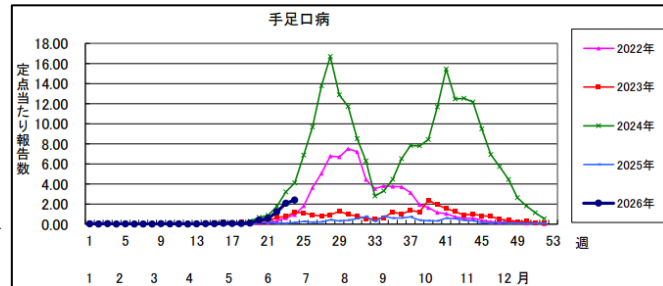


図2

出典:千葉県結核・感染症週報 2026年 第24週
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2624.pdf>

主な症状

口の中、手のひら、足底や足の甲などに2mmから3mmの水疱を伴う複数の発疹が出る。発熱は38℃以下のことが多い。

潜伏期間

3～5日

感染経路

飛沫・接触・糞口※

流行時期

乳幼児を中心に夏季に流行

留意事項

回復後も飛沫や鼻汁、便からウイルスを排出する。
 感染しても発病しないままウイルスを排出している場合もある。
アルコール消毒が効きにくい。

回復後のウイルス排出期間

・飛沫や鼻汁:1～2週間
 ・便:数週～数か月間

特に、手足口病にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活している保育施設等では、以下のチェックリストを参考に、感染拡大防止に努めましょう！

- ☒ 日頃から流水と石けんでこまめに手を洗う
- ☒ タオルや寝具の共用を避ける
- ☒ おむつ交換時には使い捨てビニール手袋を着用し、1ヶアごとに交換する
 (交換後は流水と石けんで手を洗う)

